

『(財) 中島記念国際交流財団助成』(独) 日本学生支援機構実施事業

# 第三の故郷を見つける農家民泊 2013 実施報告書



かたくり館にて (仙北市西木町)

平成25年11月

秋田地域留学生等交流推進会議

# 目 次

はじめに .....	1
I. 参加者名簿 .....	2
II. 実施要項 .....	4
III. 実施スケジュール .....	6
IV. 告知チラシ .....	8
V. 活動報告	
1 班 .....	9
2 班 .....	10
3 班 .....	11
4 班 .....	12
5 班 .....	13
6 班 .....	14
7 班 .....	15
8 班 .....	16
VII. アンケート結果	
農業体験ツアー 留学生・日本人学生アンケート .....	17
農業体験ツアー 受け入れ農家アンケート .....	21
収穫感謝祭ツアー 留学生・日本人学生アンケート .....	23
収穫感謝祭ツアー 受け入れ農家アンケート .....	26
おわりに .....	28

# 10月5日(土)・6日(日) 農業体験ツアー



3班  
のどか



4班  
里の灯



5班  
くりの木



6班  
一助



7班  
川井



8班  
庵



# かたくり館にて



11月9日 (土)  
収穫感謝祭ツアー





今年で5年の節目を迎えた仙北市西木町での農業体験事業も、無事終了しました。出身地と秋田県内での学びの地に加え、西木町を第三のふるさとと感じてほしい。こんな願いが本事業の目的にもっともかなうように思い、昨年に引き続き「第三の故郷を見つける農家民泊」と題しての実施となりました。しかし結局のところ、いちばん西木町を第三の故郷と感じているのは企画担当の私自身かもしれません。西木町で5年、その間決して足しげく通ったとは言えないのですが、ほぼ毎年佐藤由井さんのお宅にお世話になり、昨年は第一のふるさとへの帰省を上回る回数でうかがわせていただきました。

佐藤さんはじめ西木町のみなさんが、なぜこれほどまでに温かく居心地よく、地域の外からの我々を迎え入れてくださるのか。昨年は、その秘密を少しでも知りたいと思い、7軒のお宅にインタビューにうかがいました。そして農家のみなさんが、さまざまな方法でことばや習慣の異なりをこえられてきたことを知りました。同時にこうした方法を生み出そうとする意思の背景に、我が家の暮らしを訪問者に伝えたい、また訪問者から新しいことを知りたいという、明確で強い考え方があることにも気づかされました(牲川2013, 市嶋・牲川2013)。この考え方は、さらにより根源的な、人間や他者に対する考え方につながっていくように思います。私事により私の企画担当は今年度で最後となりますが、まったくの未知の場所を忘れられない故郷にしてしまう、その思想の深みを探りたくて、また必ず西木町を訪れます。

\* \* \*

今年も県内高等教育機関4校の協力を得て、留学生・日本人学生、協力教職員にお集まりいただきました。特筆すべきは、今年から日本人学生の方に各グループ・リーダー役を務めていただいたことです。農家の方と留学生、また留学生同士をつなぐために、大活躍していただきました。

秋田県立大学のテリー・リー・ナガハシ准教授には今年も通訳等でご協力いただき、秋田工業高等専門学校長の長谷川裕修助教には在外研究からの帰国後というお忙しい時期にもかかわらずご参加いただきました。仙北市農林部農山村体験デザイン室の泉谷衆参事兼室長には2回のツアーいずれにもご足労いただいただけでなく、赤そば祭りへの飛び入り参加をお誘いいただくなど、大変お世話になりました。またグリーン・ツーリズム西木研究会代表・門脇富士美さんと元代表藤井けい子さん、そして会員農家8軒の方々には今年も全面的なご協力を賜りました。ありがとうございました。

なお本事業は、財団法人中島記念国際交流財団の助成を得て、秋田地域留学生等交流推進会議が主催し、グリーン・ツーリズム西木研究会、秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会、秋田県国際交流協会、秋田モンゴル友好協会、秋田地区日本中国友好協会、仙北市農林部農山村体験デザイン室の協賛・協力を得て実施されたものです。企画・運営の事務手続きは、秋田大学国際課の伊藤いづみと正木康子が担当いたしました。

平成25年11月20日

#### 関連文献

牲川波都季, 2013, 『農家に学ぶ留学生受入の思想と方法——秋田県仙北市西木町のグリーン・ツーリズム事例集』秋田大学国際交流センター。

市嶋典子・牲川波都季, 2013, 「接触場面におけるカテゴリー生成と変化のプロセス——母語話者と非母語話者の調整行動に注目して」『2013年第8回日本語教育学会研究集会予稿集』, 9-14.

第三の故郷を見つける農家民泊 参加者名簿 / Find Your Third Hometown Farmstay in Nishiki Participants List

班 Group	リーダー Leader	名前 Name	英語 English	所属 Institution	出身地 Country	性別 Sex	備考 Note	
1. 門脇 昭子さん Seisetsukan (星雪館)	○	Terrri Lee Nagahashi	テリー リー ナガハシ	Akita Prefectural University (Faculty)	U. S. A	F		
		木村 優里	キムラ ユリ / Kimura Yuri	Akita International University	Japan	F		
		張 頌然	チェン ショニン / Chung Yin Cheung	Akita International University	Hong Kong	F		
		Belengnytre Georgette	ベランミーグル ジョルジュエット	Akita University	Burkina Faso	F		
		Nur Amira Ilyani	ヌル アミラ イリアニ	Akita National College of Technology	Malaysia	F		
		Steven Boulos	ステイブ ブロス	Akita International University	U. S. A	M		
		Suharev Aleksander	スヘカレブ アレクサンダー	Akita University	Russia	M		
		(引率)	長谷川 裕修	ハセガワ ヒロノブ / Hasegawa Hironobu	Akita National College of Technology (Faculty)	Japan	M	
		○	齋藤 沙夜花	サイトウ サヤカ / Saito Sayaka	Akita University	Japan	F	
		2. 藤井 けい子さん Taizando (泰山堂)	○	Pham Minh Quyen	フアム ミンクエン	Akita University	Vietnam	F
姜 東暎	ジャン ドンジュヨ / Jiang Dongyao	Akita Prefectural University	China	F				
吳 穎姿	インワイ アン / Ying Hui Ng	Akita International University	Singapore	F	農業体験ツアーのみ参加			
崔 維眞	チュエ ユジン / Choi Yujin	Akita University	Korea	F				
Brian Roddewig	ブライアン ロードウィーグ	ブライアン ロードウィーグ	Akita International University	U. S. A	M			
○	山村 耀	ヤマムラ ヒカル / Yamamura Hikaru	Akita University	Japan	F			
○	櫻田 光佳里	サクラダ ヒカリ / Sakurada Hikari	Akita Prefectural University	Japan	F			
Takahashi Yukiko	芳 心怡	ロウ シンイ / Lao Xin Yi	Akita University	China	F			
3. 高橋 由希子さん Nodoka (のどか)		Nguyen Thi Thu Thuy	グエン ティ チュ チュイ	Akita University	Vietnam	F		
Tomas Hoseter	トーマス ホイセター	トーマス ホイセター	Akita International University	Norway	M	農業体験ツアーのみ参加		
陈 静婷	ジンテイイン タン / Jin Tin Tan	ジンテイイン タン / Jin Tin Tan	Akita International University	Singapore	F	収穫感謝ツアーのみ参加		
Dazzy LA	デイジー ラー	デイジー ラー	Akita International University	U. S. A	F	収穫感謝ツアーのみ参加		
(引率)	笹川 波都季	セガワ ハツキ / Segawa Hazuki	Akita University (Faculty)	Japan	F			
○	仁科 真祐	ニシナ マユ / Nishina Mayu	Akita International University	Japan	F			
4. 佐藤 由井さん Satono Akari (里の灯)		チン ユホン / Yu-Peng Chen	Akita International University	Japan	F	農業体験ツアーのみ参加		
Yun Linda	ジュン リンダー	ジュン リンダー	Akita University	Cambodia	F			
張 興国	チヨウ コウコク / Zhang Xingguo	チヨウ コウコク / Zhang Xingguo	Akita Prefectural University	China	M			
Cam Nhung Vo	キヤム ニヤング ボー	キヤム ニヤング ボー	Akita International University	U. S. A	F	収穫感謝ツアーのみ参加		
○	長内 亨太	オサナイ コウタ / Osanai Kota	Akita University	Japan	M			
Sasaki Hiroko	ジェームズ ベーグ	ジェームズ ベーグ	Akita International University	U. S. A	M			
5. 佐々木 弘子さん kurinoki (くりの木)		ジョンドジン / Jeong Da Jin	Akita University	Korea	F			
Ly Tran My Hanh	リー チャン ミーハン	リー チャン ミーハン	Akita University	Vietnam	F			
Sofia Imanu Binti Ahmad	ソフィア イマナ ビンテイ アハマド	ソフィア イマナ ビンテイ アハマド	Akita National College of Technology	Malaysia	F			
○	江村 拓郎	エムラ タクロウ / Emura Takuro	Akita University	Japan	M			
Sawayama Setsuko	サインボヤン ホスボヤ	サインボヤン ホスボヤ	Akita Prefectural University	Mongolia	M			
6. 沢山 節子さん Ichisuke (一助)		エナ マリカ ボルエ	Akita International University	China	F	農業体験ツアーのみ参加		
Lazar Alina	ラザル アリナ	ラザル アリナ	Akita University	Norway	F			
(引率)	伊藤 いつみ	イトウ イツミ / Ito Izumi	Akita University (Staff)	Romania	F			
○	冢田 亮子	イエダ リョウコ / Ieda Ryoko	Akita International University	Japan	F	農業体験ツアーのみ参加		
Chinbat Enkhizaya	チンバト エンフザヤ	チンバト エンフザヤ	Akita National College of Technology	Mongolia	F			
林 潔	リン チェ / Chieh Lin	リン チェ / Chieh Lin	Akita International University	Taiwan	F	農業体験ツアーのみ参加		
朴 智永	パク ジョン / Park Ji Young	パク ジョン / Park Ji Young	Akita University	Korea	F			
Katia Laskavina Ramos Vite	カタレイ ラスカリナ ラモス ビテ	カタレイ ラスカリナ ラモス ビテ	Akita University	Peru	F			
Michelle Clement	ミシェール クレメント	ミシェール クレメント	Akita International University	Germany	F	収穫感謝ツアーのみ参加		
(引率)	正木 康子	マサキ ヤスコ / Masaki Yasuko	Akita University (Staff)	Japan	F			
○	工藤 咲希	クドウ サキ / Kudo Saki	Akita Prefectural University	Japan	F			
Fujieda Chieko	ジェサニー ウィリアムス	ジェサニー ウィリアムス	Akita International University	U. S. A	F			
3. 藤枝 千恵子さん Iori (苑)		Jenelyn Padrones	Akita University	Philippines	F			
陳 品君	チェン ピンジュン / Pin-Chun Chen	チェン ピンジュン / Pin-Chun Chen	Akita International University	Taiwan	F			
薛 穎	セツ エイ / Xue Ying	セツ エイ / Xue Ying	Akita University	China	F			

\*Akita University...秋田大学 / Akita National College of Technology...秋田工業高等専門学校 / Akita International University...国際教養大学 / Akita Prefectural University...秋田県立大学

### 協力農家等

名前 Name	ヨミガナ／英語表記 English	宿泊受け入れ Group	農業体験 Farm Experience	収穫感謝祭 Harvest Festival
1 門脇 昭子	カドワキ ショウコ／KADOWAKI Shoko	1班	○	○
2 藤井 けい子	フジイ ケイコ／FUJII Keiko	2班	○	○
3 高橋 由希子	タカハシ ユキコ／TAKAHASHI Yukiko	3班	○	○
4 佐藤 由井	サトウ ユイ／SATO Yui	4班	○	○
5 佐々木 弘子	ササキ ヒロコ／SASAKI Hiroko	5班	○	○
6 沢山 節子	サフヤマ セツコ／SAWAYAMA Setsuko	6班	○	○
7 川井 れいこ	カワイ レイコ／KAWAI Reiko	7班	○	○
8 藤枝 千恵子	フジエダ チエコ／FUJIEDA Chieko	8班	○	○

### 農業体験ツア一参加者数

参加者区分	秋田県立大	秋田工業高等専門学校	国際教養大学	秋田大学	男	女	計
留学生	3	3	12	14	7	25	32
日本人学生	2	-	3	4	2	7	9
教員	1	1	-	1	1	2	3
職員	-	-	-	2	-	2	2
協力農家等	-	-	-	-	-	8	8
計	6	4	15	21	10	44	54

### 収穫感謝祭ツア一参加者数

参加者区分	秋田県立大	秋田工業高等専門学校	国際教養大学	秋田大学	男	女	計
留学生	3	3	11	14	6	25	31
日本人学生	2	-	2	4	2	6	8
教員	1	1	-	1	1	2	3
職員	-	-	-	2	-	2	2
協力農家等	-	-	-	-	-	8	8
計	6	4	13	21	9	43	52

## 第三の故郷を見つける農家民泊 2013 実施要項

### 1. 目 的

本事業は、秋田県内で学ぶ留学生が農業体験を通じ、1) 随一の地場産業である農業と農家の暮らしを体験的に理解するとともに、2) 農家の方のお話から、仙北市西木町の魅力を認識し、本事業後も再び同地を訪れるような継続的な関係づくりを目指す。

留学生の出身地、秋田県内での勉学・生活の地に加え、仙北市西木町を第三の故郷として見つけ出してもらうことを最終目標とする。

### 2. 実施内容

二回の農業体験プログラムを通じ、仙北市西木町の生活を理解し交流を深める。

第一回目の「農業体験ツアー」では、農作業・農家民泊を体験したのち、各農家で協働で作った料理を持ち寄るとともに、ツアーの内容を振り返り全員で共有する。

第二回目の「収穫感謝祭ツアー」では、再度同じ顔ぶれで集まり、餅つき大会を開催するとともに、「農業体験ツアー」での思い出をアルバムにまとめ農家の方に贈呈する。また、農家の方と西木町での生活の魅力を語り合う時間を設け、留学生の再訪へとつなげる。

#### (1) 第一回目 「農業体験ツアー」

- 1 グループごとに各農家に分かれ農作業を体験
- 2 農家に宿泊し、グループメンバー同士や農家の方々とさらなる交流
- 3 参加者全員で、各農家で留学生と協働で作った料理を持ち寄り、河原公園※にて昼食会と農作業体験の振り返りを行う

※雨天時は、クリオンにて

#### (2) 第二回目 「収穫感謝祭ツアー」

- 1 第一回目と同じ顔触れで集まり、餅つき大会を開催  
その後、地元農作物やお餅を用いて調理
- 2 各グループで農業体験ツアーを振り返ったのアルバム作成
- 3 料理を食しながら、交流会とアルバム贈呈を実施
- 4 協力団体（仙北市農林部総合産業研究所農山村デザイン室）から、農家を再訪したい場合の申込み方法紹介

#### (3) 最終成果を留学生交流推進協議会のウェブサイト上に報告書として公開

3. 参加予定 県内在住の外国人留学生33人, 日本人学生9人,  
協力教員・引率5人, 西木町の地域住民9人 計56人
4. 実施期日 「農業体験ツアー」 平成25年10月5日(土)～6日(日)  
「収穫感謝祭ツアー」 平成25年11月9日(土)
5. 実施日程 別紙のとおり
6. 募集期間 平成25年6月24日(月)～8月20日(火)
7. 主 催 秋田地域留学生等交流推進会議
8. 協賛・協力 グリーン・ツーリズム西木研究会, 秋田花まるっグリーン・ツーリズム  
推進協議会, 秋田県国際交流協会, 秋田モンゴル友好協会, 秋田地  
区日本中国友好協会, 仙北市農林部総合産業研究所農山村デザイン室
9. 参加料 無料
10. 問合せ先 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1  
秋田地域留学生等交流推進会議事務局  
秋田大学国際課内 伊藤, 宮崎  
TEL 018-889-2856 FAX 018-889-3012  
E-mail kokusai@jimmu.akita-u.ac.jp

実施スケジュール

農業体験ツアー

収穫感謝祭ツアー

1日目 平成25年10月5日(土)		2日目 平成25年10月6日(日)		平成25年11月9日(土)	
時刻		時刻		時刻	
		6:00			
		6:30	起床		
		7:00	朝食		
7:50	国際教養大学バス停前集合	7:30		7:50	国際教養大学バス停前集合
8:00	国際教養大学発(借上バス)	8:00		8:00	国際教養大学発(借上バス)
8:20	秋田大学(手形キャンパス)正門前集合			8:20	秋田大学(手形キャンパス)正門前集合
8:30	秋田大学(手形キャンパス)発	8:30	各農家にて農業体験, 調理	8:30	秋田大学(手形キャンパス)発
	仙北市西木町へ移動				仙北市西木町へ移動
9:00		9:00		9:00	
9:30	車内にてオリエンテーション (途中、安藤醸造元北浦本館にて休憩)	9:30		9:30	(途中、安藤醸造元北浦本館にて休憩)
10:00		10:00		10:00	西木かたくり館へ到着
10:30	各受入農家へ移動(バス移動)	10:30		10:30	収穫感謝祭
	・昼食, 農業体験				・地元で収穫した農作物で料理作り
11:00	(栗拾い, ホウレンソウ収穫, きりたんぼ作り他)	11:00		11:00	・もちつき大会
					・料理をいただきながら交流会
11:30		11:30		11:30	・アルバム作成
					
12:00		12:00	河原公園へ移動(各農家から)	12:00	
			・料理を持ち寄り屋敷会, 農業体験の振り返り		
12:30		12:30	※雨の場合は公民館に変更	12:30	
13:00		13:00		13:00	
13:30		13:30		13:30	
14:00		14:00	記念撮影, 自由時間(散策)	14:00	
14:30		14:30	アンケート記入・回収	14:20	記念撮影, 自由時間(散策)
15:00		15:00	解散, 秋田大学に移動(バス)	15:00	アンケート記入・回収
					解散, 秋田大学に移動(バス)
15:30		15:30	(途中、安藤醸造元北浦本館にて休憩)	15:30	
16:00		16:00		16:00	(途中、安藤醸造元北浦本館にて休憩)
16:30		16:30	秋田大学着	16:30	秋田大学着
17:00	各農家にて夕食・交流会	17:00	国際教養大学着・解散	17:00	国際教養大学着・解散
22:00	就寝				

## Find Your Third Hometown

**\*You are required to participate in both Farm Stay Tour and Harvest Festival Tour.**

<b>Farm Stay Tour</b>	<b>October 5 (Sat.)</b>
-----------------------	-------------------------

- 7:50 Meet at the AIU bus stop (AIU participants)
- 8:00 Leave AIU (by chartered bus)
- 8:20 Meet in front of the Akita University main gate (All other participants)
- 8:30 Stop over at Akita University to pick up all other participants
- 10:30 Arrive in Nishiki-machi meet your hosts, and travel to farms. Enjoy lunch, farming experience, dinner, and a restful night in your host's home.

***Please take a lot of pictures for the albums that we will make for our hosts in November!!***

	<b>October 6 (Sun.)</b>
--	-------------------------

- 6:30 Wake up
- 7:00 Breakfast
- 8:30 Farming experience
- 12:00 Arrive at Kawara Park (at Kurion Hall if it rains), Lunch with host farmers
- 13:20 Introduce farming experience by each group
- 14:00 Take a group photo, fill out a questionnaire, free time
- 15:00 Leave Kawara Park(or Kurion Hall)
- 16:30 Arrive at AU
- 17:00 Arrive at AIU

***Please take a lot of pictures for the albums that we will make for our hosts in November!!***

<b>Harvest Festival Tour</b>	<b>November 9 (Sat.)</b>
------------------------------	--------------------------

- 7:50 Meet in front of the AIU bus stop (AIU participants)
- 8:00 Leave AIU (by charter bus)
- 8:20 Meet in front of the Akita University main gate (All other participants)
- 8:30 Stop over at Akita University to pick up all other participants
- 10:00 Arrive at Nishiki Katakuri Public Hall, enjoy Harvest Festival-Cooking, eating, and making photo albums
- 14:20 Take a group photo, fill out a questionnaire, free time
- 15:00 Leave Nishiki Katakuri Public Hall
- 16:30 Arrive at AU
- 17:00 Arrive at AIU

『(財)中島記念国際交流財団助成』(独)日本学生支援機構実施事業

参加

# 第三の故郷を見つける農家民泊2013

無料

秋田県仙北市西木町で農家に宿泊し、栗拾いなどの農業体験や農家さんの料理作り。そして農家さんと西木町や農業の魅力について語り合います。

「農業体験ツアー」と「収穫感謝祭ツアー」の両方に参加できる方を募集!

もう一つの故郷を見つけてみませんか?

\*対象は秋田県内の大学・高専で学ぶ留学生及び日本人学生のみなさんです。

## \*農業体験ツアー\*

2013年10月5日(土)～10月6日(日)(1泊2日)

(一日目)

- ・国際教養大学—秋田大学—仙北市西木町(バス)
- ・各農家で農業体験・交流会・民泊

(二日目)

- ・農業体験後、各々の料理を持ち寄り、各農家での農作業体験の紹介
- ・西木町—秋田大学—国際教養大学(バス)、解散

※食事面に関して、宗教上の理由や食物アレルギー等お持ちの方についても対応可能です!

## \*収穫感謝祭ツアー\*

2013年11月9日(土)(日帰り)

- ・国際教養大学—秋田大学—仙北市西木町(バス)
- ・10月と同じメンバーで、地元の農作物を調理・食しながら交流会・アルバム作成他
- ・西木町—秋田大学—国際教養大学(バス)、解散

【参加料】 参加料は、無料です!!

【主催】 秋田地域留学生等交流推進会議

【協賛・協力】 グリーン・ツーリズム西木研究会、秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会、秋田県国際交流協会、秋田モンゴル友好協会、秋田地区日本中国友好協会、仙北市農林部農山村体験デザイン室

【お問合せ】 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

秋田地域留学生等交流推進会議事務局

秋田大学国際課内 伊藤・正木まで

TEL 018-889-2856 Fax 018-889-3012

E-mail kokusa@jimu.akita-u.ac.jp



Free Tour

The Nakajima Foundation / Japan Student Services Organization

# Find Your Third Hometown Farmstay in Nishiki 2013

Popular Farm Experience Tour - Would you like to find a new hometown?

You'll have two chances of agricultural experience in Akita: staying at farm and joining the harvest festival.

Enjoy Chestnuts gathering, cooking and talking with farmers in Nishiki!

Eligibility: International Students and Japanese Students studying at Universities or the Technical College in Akita

## \*Farm Stay Tour\*

Saturday, October 5 - Sunday, October 6, 2013 (Overnight)

(Day 1)

Going to Nishiki-machi by bus

Farming experience and Welcome-dinner / Staying at the farm

(Day 2)

Farming experience (Picnic (taking farmers' homemade dishes) and sharing each experience / Returning to Akita University and AIU by bus

## \*Harvest Festival Tour\*

Saturday, November 9, 2013 (Day trip)

Going to Nishiki-machi by bus

Cooking with local agricultural products, enjoying delicious food with farmers and making albums / Returning to Akita University and AIU by bus

Free Tour!

We can make special arrangements for students

who have food allergies or any restrictions for religious beliefs. Please consult with us.

Sponsored by Akita Inter-regional Council for Promotion of Foreign Student Exchange

Cosponsored by NishikiKonkyukai of Green Tourism, Akita Hana Marukko Green Tourism Promotion Council,

Akita International Association, Akita Mongol Friendship Association,

Japan China Friendship Association in Akita region, Semboku City Ministry of Agriculture Rural Experience Design Office

Contact Info: Ito, Masaki, International Exchange Center, Akita University

Tel 018-889-2856 / Fax 018-889-3012

E-mail kokusa@jimu.akita-u.ac.jp



## 1 班活動報告（門脇昭子さん宅：星雪館）

国際教養大学 木村 優里

今回の農家民宿では、留学生を引率するグループリーダー兼通訳係として参加した。1班のメンバーは非常に国際色豊かなメンバーで、アメリカ出身のステーブ、テリー先生、ブルキナファソ出身のジョージェット、香港出身のココちゃん、マレーシア出身のアミラ、ロシア出身のサーシャ、そして日本出身の私である。彼らの日本語のレベルもまちまちで、9月に日本語を始めたばかりという全くしゃべれない状態の留学生から、日本人に劣らないほど流暢な日本語がしゃべれるメンバーもいた。そんな世界の縮図メンバーで、10月5日、6日の2日間を星雪館でお世話になった。

星雪館は一番奥にある民宿で、狭い田舎道を大型バスでゆるゆると進み、何とかやっと到着した。私達が到着すると、はにかみながら玄関前で門脇さん一家が迎えてくれた。二階の薪ストーブを囲んで自己紹介をし、早速みんなで昼食のおにぎりをつくった。おにぎりって何？という状態の留学生も一緒に一生懸命三角に握った。午後はほうれん草の収穫をもくもくとやった。次の作付けに間に合うようにほうれん草を収穫したいということだったので、ほうれん草を切る人、束ねる人に分かれて作業し、野菜の収穫経験が無い留学生はとても楽しそうにしていた。作業をしながらも、お父さんが民宿をやっていることや始めたきっかけについて話をしてくださり、留学生が自分の国のことを話してくれたので、作業というよりおしゃべりの時間だった。収穫後は「散歩しておいで」という富士美さんの言葉に甘え、自分たちで星雪館のまわりをぐるっと散歩してまわった。周りには民家がぼつぼつあり、あとはだだっ広い田んぼや畑が山のふもとまで続く秋田の田舎らしい風景で、時間がゆっくり流れているように感じた。その風景を留学生が母国にテレビ電話で実況中継したり、写真をとって友達に送っており、外国人の目にも日本の田園風景は美しく映るようであった。星雪館に戻ると今度は夕食の準備をみんなでやった。米を半殺しにしてきりたんぽをつくり、薪ストーブで焦げ目をつけて味噌を塗って味噌たんぽにした。実は私も味噌たんぽを食べたことがあり、あまり美味しいと思ったことはなかったので、星雪館での味噌たんぽが美味しくてとても驚いた。食べたことある留学生も、「手作りした出来立ての味噌たんぽってこんなに美味しかったのか!」と、とても感激しておかわりしていた。その後は私がずっとずっと作っていたと思っていた飾り巻き寿司をお母さんが教えてくれるということで、女子のみんなでそれぞれ思い思いの飾り巻きを作った。私は花をイメージして作ったが、意外にも渦巻きにピンクや緑の模様が入った個性的な模様の飾り巻きを作った留学生もいて面白かった。次の日の朝、男性陣はお父さんさんと薪割りをして、女性陣は富士美さんとお母さん、それからお手伝いできている長津さんと昼食の準備を手伝った。滞在期間は一日半だったが、帰る頃には留学生も離れたくないと車に乗るのを最後まで躊躇っていた。

星雪館での時間は本当に居心地の良いものだった。もちろんご飯も美味しかったし、ほうれん草の収穫も新鮮な体験だったが、それ以上に門脇一家の皆さんの人柄が素敵だった。皆さん大らかで懐がおっきい、でも、ちょっとどこか抜けたような感じが愛らしく、仲が良いので漫才を見ているようで、また門脇一家に会いたいと思わせてくれるお茶目なお家だった。11日に再会した後も離れたくないとメンバーは門脇さん親子の周りでバスに乗るのをためらっていた程だった。

## 2 班活動報告（藤井けい子さん宅：泰山堂）

### 「第三の故郷を見つける農家民泊」を通して

秋田大学 齋藤沙夜花（日本）

本体験を通して、私は多文化の良さと自文化の根本を支える農業のよさを改めて考えることができました。私はリーダーとして、外国人と農家の方の通訳としてお手伝いさせていただきましたが、習慣や言語、文化が違えど二日間で文化の枠を超えた関係を参加者全員が築けたと思っています。また、私自身秋田県に住み始めて半年程度であまり交友関係も広くありませんでした。しかし、今回の機会を通じて多くの友人を作ることができるとともに、農家さんとは今後も秋田の家族のような関係で度々訪れたいと思いました。とても素敵な体験をさせていただきました。

秋田県立大学 姜 東暁（中国）

来日5年目ですが、日本人の家を住んだりとか、日本農業を体験したりしたことが残念ながらもありません。今回ありがたいチャンスをいただき、肌で真実の日本農家生活を感じさせていただきました。平凡なのに小さい幸せに包まれている生活を送っているようです。

ユーモアなおばあさんと愛妻家であるおじいさん、及びみんなと出会ったことが良かったと思います。余裕な時間があれば、みなさんが本荘市にある県立大学に遊びにきてください。

秋田大学 チェ ユジン（韓国）

今回の農家民泊の体験を通して日本で初めての経験がいっぱいできた。日本の民家で寝ることも出来たし、初めて農家の仕事も体験が出来た。そしていろんな国の人が集めて食事の準備をして一緒に話しながら食事したり、農家の仕事をして得た野菜で料理して食べたり、すごく楽しかった。この体験がなかったらできなかったはずだと思う。これからもこのような体験が増えて欲しい。

国際教養大学 Brian Roddewig（アメリカ）

I thought the farm stay program was a very good way to bring together international students and local Akita people. Most international students would have never been able to experience life in the countryside of Akita without this program. I think it is important to show international students that Japan is not just shiny cities

農家民泊体験は、留学生と秋田の方々をつなぐとても良いきっかけだったと思います。このようなきっかけがなければ、留学生の多くが秋田の田舎を体験することはできません。留学生にとって日本は賑やかな都市だという印象だけでなく秋田の田舎のような一面があることを知るのとはとても重要なことだと感じました。

### 3班活動報告（高橋由希子さん宅：のどか）

秋田大学 山村 燿

私たち3班は、のどかさんでお世話になりました。三班のメンバーは、日本、中国、ベトナム、ノルウェー出身のメンバーでした。皆日本語が話せたので、学生同士はもちろん、現地の方々ともよくコミュニケーションが取れていたと思います。農業体験としては、乾燥させたインゲンの皮をとる、という作業が主でした。きりたんぼ作りも体験させてもらいました。秋田出身の櫻田さん以外は皆初めての体験でした。

作業している時も、会話もしながら、楽しんで行うことができました。農家での生活がどういふものなのか話を伺うことができました。また、みな国籍が違ったので、同じ国の人同士ならすぐに終わってしまう話題が、「それってあなたの国ではどうなの？」というように、話が盛り上がり、それぞれの国の事情、社会的な背景も新たに学ぶことができ、メンバーみんなが見識を広げることができました。

出してもらった料理は、種から育てたものがほとんどで、水も山の湧き水を使っているようで、どれもとても美味しかったです。自分で手塩を込めて作ったものが、自分で消費できることのすばらしさを感じました。自分で作るために、味噌たんぼのタレの作り方を教えてもらっている人もいました。

収穫感謝祭では、アルバム作りから始まり、餅つき体験、お昼に美味しい料理・お餅をいただけて幸せでした。アメリカ、シンガポール出身の方々も加わり、さらにいろいろな国について知ることができたと思います。

私の実家も農家で、祖父の代で終わる予定なのですが、グリーンツーリズムという新しい農業の形もあるのだと学びました。実際に私の家でもできることはあるのではないかと、考えるきっかけにもなりました。

この農業体験は、留学生たちは日本の伝統について知ることができ、日本人学生も、日本の文化・伝統について外国の視点を踏まえて改めて考えなおすことができる、とても有意義な体験でした。

#### 4 班活動報告（佐藤由井さん宅：里の灯）

国際教養大学 仁科 真祐

私たち4班は佐藤由井さんの「里の灯」にて農家民泊をさせていただきました。4班には私のほかに、牲川波都季先生（秋田大学）、台湾出身の陳ユホンさん（国際教養大学）、中国出身の張興国さん（秋田県立大学）、カンボジア出身のジュン・リンダーさん（秋田大学）がいて、総勢5人でお世話になりました。はじめに佐藤さんのお宅に着き、都会ではあまり見ることのできない日本家屋に魅了されました。畳張りの和室に寮生活ではなかなか味わえない日本文化を感じました。また、壁には家紋が飾ってあり、伝統をととても大事にしている印象を受けました。一通り自己紹介をし、談笑した後に佐藤さんお手製のゴマの蒸しパンケーキと台湾の烏龍茶をいただきました。台湾出身のホンさんが台湾茶の入れ方を教えてくれました。日本茶との違いがわかり、興味深かったです。その後私たちはお庭や周辺の散策を行いました。佐藤さんのお庭にはさまざまな色、種類のダリアが美しく咲いていました。また、畑に行きトラクターの操縦方法を教えていただき、一人ひとりトラクターに乗って稲が収穫された後の土を耕す体験をしました。カーブする時の操縦が少し難しかったのですが、はじめての経験でとても楽しかったです。その後の栗拾いも初めての体験でした。腰に籠をつけてたくさんのお栗を拾いました。その合間にお父さんからクマがよく出るお話を伺い、自然に囲まれて暮らす豊かさと同時に危険も学びました。散策を終えて戻ってきてから、秋田県名物きりたんぼを手づくりしました。もち米を一生懸命すりつぶし、割りばしにさして形を整えてつくりました。そして庭に出て佐藤さんの自家製味噌をつけて味噌たんぼにし、炭火で焼きました。自分たちの手で作ったので以前お店で買って食べたときより格段においしく感じました。また、先ほど拾った栗を焼いていただきました。甘栗として加工されていない、自然の栗を食べるのは貴重な経験でした。佐藤さん宅にはお米の精米機があり、そこで私たちはお仕事を手伝わせていただきました。精米機から出してくるお米を袋に詰め、それを運んで並べるという簡単な作業でしたが、畑での農作業と同様に体力勝負のお仕事であると実感しました。夜ご飯にはお母さんが色どりよく盛り付けてくださった野菜の小鉢や、お魚などとても豪華な食事をいただきました。食事とともに、カンボジアや中国、台湾の食文化や、簡単なあいさつなど言語も教えてもらい楽しいひと時でした。また、お父さんが特技である三味線で秋田の民謡を演奏してくださいました。ホテルとは異なり、ホストの方とお話をしたり地域の文化を感じたりできる民泊の魅力を再認識しました。ほとんどの参加者にとって農家民泊や農業体験は初めての経験でしたが、佐藤さんが温かく迎えてくださって、日常から離れゆったりとした心地よい時間を過ごすことができました。

一か月ほど経って今度はかたくり館にて農家さん方に贈るアルバム作りと、収穫感謝祭ということでお餅つきとお餅づくりをしました。先月の楽しかった出来事を思い起こしながら班のメンバーと振り返りの機会を持ってよかったです。佐藤さんも手書きのメッセージや写真に喜んでいただけたようで嬉しかったです。お餅つきでは留学生が上手について日本の文化を楽しんでいる様子を見られてよかったです。今回最も印象的だったのは、お母さんが政府からの補助金が廃止されるとこれから農家さんの収入が不安定になるという話をされていたことです。私は農家民泊や農業体験などに積極的に参加することで日本の農業の魅力と現実を広める力になりたいと強く感じました。そして、またぜひ西木町を訪れたいと思います。参加させていただきありがとうございました。

## 5班活動報告（佐々木弘子さん宅：くりの木）

秋田大学 長内 亨太

私たち5班は、「くりの木」佐々木さんのお家にお邪魔させていただきました。メンバーは私を含め男性2人、女性3人の計5名、そのうち私以外は留学生の方々に構成されており、全員このイベントに参加するのは初めてでした。待ち合わせ場所に到着しバスから降りたとき、留学生の皆さんは初めての農業体験、農家民宿に少し緊張した様子でした。また私自身も、初の農家民宿に加え彼らを一人でサポートしなければというプレッシャーから、正直なところ不安でいっぱいでした。初めてお会いする際、このように私たちは少しかたくなっていたのを今でも覚えています。そんな私たちを暖かく、満面の笑顔で迎えてくださったのが農家の皆さんでした。

滞在中は栗農家さんということもあり、栗に関するお手伝いをさせていただいた時間が多かったです。まずは栗拾い。広い敷地にたくさんの栗の木が茂っていました。今年の栗は比較的遅れていたということだったのですが、それでも十分栗拾いを楽しむことができました。西木村の栗は日本の中でもかなり大きいということが知られており、大きな栗を求めて敷地内の奥へ奥へと進んでいく留学生の方もいました。拾ってきた栗はふるいにかけてサイズごとに分別した後、傷の状態等をチェックしていきます。また、特殊なカッターを使って栗の皮を取り除く作業も行いました。このように、収穫、仕分け、皮むきの作業を一通り経験することで、収穫の喜びと作業過程での苦勞を感じることができました。

留学生の方々の中には、畑での野菜収穫や、ゆべし作り、水切り遊びなどが印象に残っていた人も多いようです。特にニンジンの収穫に関しては、一つ一つが大きく、引っこ抜く度に「おお〜」と声上がるほどでした。また、新聞紙で焼き栗を入れる入れ物を作ったり、米袋を織りまげて完成させる作業をしたり、家族の方と将棋を楽しんだり、本当にたくさんの体験をさせていただきました。その分だけ発見できたことや学んだものは大変多かったです。

いろいろとお世話をしていただき、おいしいご飯を作っていただき、さらに帰り際には作ったゆべしや収穫したニンジン、そしてたくさんの栗を持たせていただきました。農業を営むということは、楽しいことでもあり、大変なことでもあり、周りの人たちを笑顔にすることでもあるということを、この佐々木家にて、身をもって体験することができました。

一番印象に残っているのは、どんな作業よりも、やはり優しかった皆さんです。農家さんの暖かさを、留学生の皆さんは忘れることはないでしょう。日本人の私でさえ、もう一度帰りたいたいと思うような場所であり、家族の皆さんでした。

今回、今年で5年目を迎えるこの農家民泊に参加させていただきました。私たち6班（メンバー：ホソくん/モンゴル、ユウさん/中国、マリカさん/ノルウェー、アリナさん/ルーマニア、そして私）は、農業に加えて一助というおそば屋さんを営んでいる沢山さんのお宅でお世話になりました。当初、私はグループリーダーとして留学生とホストファミリーの間でうまく動くことができるか少し不安でしたが、実際は沢山さんの豊富な外国人との交流経験とメンバー全員の驚異的な日本語能力のおかげで、ほとんど問題なくお互いが意思疎通を図ることができたと思います。

さて私たちの活動は、栗ひろいから始まりました。みんなで自己紹介をしたあとに、栗の木と田んぼが広がる裏山へ。私たちは、お父さんから両足を使って上手に栗のいがを剥く方法を教わり、栗ひろいに没頭していきました。お父さんは、「時期は過ぎた」とおっしゃっていましたが、帰る頃にはみんなのビニール袋は大きな栗でいっぱいになり、みんなその量に満足そうな表情をしていました。そうしてお昼時になり、おそば屋さんの開店時間になります。

この日は私たちもおそば屋さんの一員となり、お手伝いをさせていただきました。次々に来るお客さんの多さにてんやわんやしながら配膳や洗い物、薬味の盛り付けなどを行いました。多くのお客さんは国際色豊かな店員の面々に目を丸くされていたようです。お店が一段落すると、今度は私たちがおそばをごちそうになりました。初めておそばを食べるといふメンバーも少なくありませんでしたが、みんな美味しく食べていましたし、それを見て「どう、おいしいでしょう？」と言いながら目を細めていたお父さんの顔が印象的でした。

昼食後、男性陣は稲刈り、女性陣はその日の夕飯や次の日の昼食のお手伝いをしました。私は「稲刈り」というと鎌で刈るのかなと思っていましたが、なんとこの日はコンバインを運転させてもらうことに。これには、ホソくんより私の方が興奮していました。まず、お父さんにお手本を見せてもらったあとにホソくんが運転しました。ホソくんはあっさり列と平行に稲を刈っていくので、私もお父さんも「うーん、うまいなあ」とぼつり。それから、私の順番です。乗り物が好きな私は、終始にやにやがとまりませんでした。一方、女性陣の作業内容は直接見ていないので詳しく説明できませんが、その日の夕飯やかたくり館で食べたご飯は、若干の形のばらつきはあれど、どれもおいしく、慣れない日本料理だけど一生懸命つくってくれたんだなと感じました。お互いの作業が終わると、すでに日が傾いていました。

夕飯の前に、駒ヶ岳温泉に連れて行っていただきました。そこで私たちはいい湯に浸かりながらお互いの話に花を咲かせます。夕飯は沢山家の女性陣お二人が美味しい料理を振舞って下さいました。それを食べながらお父さんの若い頃の話やおそば屋さんを始めたきっかけ、また各々のふるさとの話で盛り上がり、とても楽しい食卓になりました。その後、イモムシやカメムシと一悶着ありましたが、無事皆就寝。

次の日、朝食をごちそうになったあと、私たちはそば打ちを体験しました。お父さんは簡単そうに生地を延ばしていましたが、いざ自分たちでやってみると本当に難しく、改めてお父さんの腕前に魅せられました。その後、前日に登った裏山のもう少し奥まで散歩をしました。自然が大好きなアリナさんは林や沼、そこに住む生き物に終始目をキラキラさせながら写真を撮っていました。そうこうしている間にお昼を迎え、河川公園へ移動。するとすぐに雨が降り出し、かたくり館へ。みんなで持ち寄った手料理を食べながら、二日間を振り返りました。それから、赤そば畑に行ったり、近くの公民館でおそばをごちそうになったりして、西木町を満喫。そしてまた一ヶ月後の再会を約束して、二日間の農業体験ツアーを終えました。

そして11月9日、収穫感謝祭ツアーで私たちは再会しました（ユウさんの欠席は残念でした）。前回の農業体験で撮った写真で思い出を振り返りながらアルバムを作ったり（みんな絵が苦手な中、マリカさんが大活躍!!）、ホストマザーが作る料理のお手伝いをしたり、もちつきをしたり。どの場面でもホストマザーとの明るい会話がその一瞬一瞬を楽しくしてくれました。そして出来上がった料理や、つくたてのもちを食べてアルバムをお母さんにプレゼント。楽しい時間はあっという間に過ぎ、計三日間の農家民泊は終わります。最後にみんなでお母さんに「お世話になりました」と挨拶をして帰路へ。「電話をくれたらいつでも迎えに行くからね」と言っていただきました。

今回、ホストファミリーの沢山さんには本当にお世話になりました。また遊びに行かせてください。そしてスタッフの方々には、私自身貴重な体験・出会いの場に参加させていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。そして、この農家民泊を通して得られた経験や所感をこの先、活かしていければと思います。

## 7 班活動報告（川井れいこさん宅：川井）

国際教養大学 家田 亮子

今回初めての農業体験をさせていただき、大変素晴らしい経験をさせていただきました。私たちのグループは私と職員の方以外は全員留学生で、私と同様に農業と直接触れるのは初めての方々も多く、無事にすべていくか、ちゃんと農家の方々の伝えたいことを通訳できるかなど、はじまる前は心配事が多かったです。しかし、ホストファミリーとして迎えていただいた川井さん夫婦はとても丁寧の一つ一つしっかりと、そして何より温かく私たちを歓迎して下さい、緊張も瞬く間に解れました。一日目は栗拾いから始まり、武家屋敷見学、作物の収穫の手伝い、料理作り、そして最後に飾山囃子にまで連れて行っていただきました。川井さんには秋田の郷土料理であるきりたんぼの作り方をはじめ、さまざまな料理の紹介をしていただき、留学生たちも目を光らせていました。中でもリマ出身の留学生の方が故郷の人気料理を振る舞って下さり、川井さんのお母さんも楽しそうに寄り添って調理方法などを交換していました。彼女は日本語の初心者で、はじめのうちは川井さんのおっしゃること一つ一つを英語で説明しなくてはいけませんでしたが、時間がたつにつれてお互いに言葉なしでもコミュニケーションをとれるようになり、たったの半日で家族のようになったと彼女は言っていました。これも川井さんの心がこもったおもてなしのおかげです。

私は日々大学で国際的な理解とはどうたどり着けるかを勉強しています。高度な語学能力や国際情勢の理解を求め、それがいつか異文化のコミュニケーションにつながる可能性は大きいですが、今回の経験が最も強く私に教えてくれたものは、川井さんのような心遣いと思いやりや受け入れかたによって言葉を越えた相互理解と心の繋がりができるということです。将来にも貴重な体験をありがとうございました。

秋田工業高等専門学校 チンバト エンフザヤ

11月9日。一ヶ月ぶりに皆さんに会えて、すごく嬉しかったです。かたくり館に行く途中バスの中で友達といろいろな話をしたり、笑ったり、安藤醸造でソフトクリームを食べたりしました。

かたくり館に着いて、皆さっそくアルバムを作り始めました。農業体験で撮った写真を見て、農家で過ごした二日間のことを思い出しながら「またお父さん、お母さんの家に行きたい」、「2日間本当に楽しかったな」とか話をしました。アルバム作成の途中で餅つき大会が始まり、皆楽しそうにやっていました。

出来上がったおもちと地元で収穫した農作物で作ったお母さんたちのお料理をいただき、嬉しかったです。

最後に、自分たちで作ったアルバムをお母さんに渡し、喜んでいただいて、本当によかったです。

今回の体験を通して、いろいろな人に出会うことができ、3日間西木の皆様にお世話になりました。本当にありがとうございました。

秋田県立大学で留学生との交流は少ないほうだと思います。今回の農家民泊で他大学を含む様々な国からの留学生と交流ができたことは、私にとって価値のある経験でした。

私のグループは、Jessany Williams、Jennyn Padronis、薛穎、陳品君、正木康子さん、私の6人グループで、一泊二日お世話になる木のぬくもりが漂う素敵な農家、「麓」さんのお母さん、藤枝千恵子さんと合流しました。自己紹介を済ませた後、私たちはお昼ごはんができるまでの間たくさんのお話をしました。それぞれの国の文化や、なぜ、日本が好きなのかなど。お昼ごはんはハヤシライスで品君が食べてみたかったこともあり、特にとてもおいしそうに食べていたことを覚えています。お昼の後、みんなで苔玉を作りました。思ったよりも簡単に作ることができ、みんなでかわいいなど言いながら作ったことも覚えています。その後は正木さん、Jessany、Jennyn、私の4人で温泉に向かいました。JessanyとJennynは温泉が初めてだったようで、サウナや露天風呂も体験し、日本人ではお決まりのお風呂上がりの牛乳も飲んで、とても楽しそうでした。温泉から帰ると、みんなでだまこ鍋を藤枝さんに教わりながら作りました。いろんなことを話しながら、でもみんな真剣な顔つきで頑張っただまこもちを作って、だまこ鍋以外にも藤枝さんが作ってくれた料理を分けたり、運んだりして、夜ごはんの準備をしました。だまこ鍋は人気でみんなおいしそうに、おなかがいっぱいになるまで食べました。夜ごはんの後はごはんになんで、それぞれの伝統料理や、ライフスタイルについて話しました。その時はほとんど英語で会話をしていたので、私にとっては難しかったのですが、みんなが私の言っていることを理解しようとしてくれ、逆に私もみんなのことを理解しようとしたので、お互いのことをよく知れるいい時間になったと私は思います。二日目はトマト収穫後、角館の武家屋敷へ藤枝さんが案内してくれました。写真もたくさん撮り、みんなでアイスクリームを食べました。武家屋敷探検後、おにぎりを握ったり、おかずを作ったりと、みんなでお昼の準備をして、参加者全員が揃うかたくり館へ向かいました。ほかの班の発表を聞いて、どこの班も楽しそうだなーと思いました。その後全員でそばを食べ、一泊二日お世話になった農家さんと別れましたが、その時に藤枝さんが私たちと会えてよかった、とても楽しい時間でした、と言ってくれたことや、グループのメンバーが藤枝さんとたくさん写真を撮っているのを見て、嬉しく思った反面、一泊二日の時間があっという間に過ぎてしまったことにさびしさを感じました。

久しぶりにみんなと顔を合わせた収穫祭。アルバム作成をしていると、つい最近のことのように農家民泊の思い出が蘇り、正直こんなに仲良くなれるとは思っていなかったので、またこうしてみんなとあえて、時間を共有することができ、本当に嬉しかったです。藤枝さんも元気そうでみんなと会えたのを喜んでくれました。収穫祭では、自分の班以外の人も関わることができ、とても楽しかったです。

今回、学校の講義を聞いていても習わないようなこと、秋田の伝統料理であるだまこ鍋の作り方や、他国の文化など、たくさんのお話を教わったように思います。これは私の経験として大きな価値のあるもので、私以外のメンバーも同じように思っていると思います。そして何より、農家民泊、収穫祭を通して私は友達を増やすことができました。特に、一泊二日をともした仲間は第三の家族であり、そこででの生活は第三の故郷になったのではないかと思います。この時間で得られたつながりは大切にしていきたいな、と改めて思います。

**〔農業体験ツアー〕 留学生・日本人学生アンケート 結果**

Result of the Farming Tour Questionnaire for International Student and Japanese Student

回収数:41枚 単位:人

**問1. あなたはどの大学の学生ですか。**

Which university do you belong to?

秋田県立大学 Akita Prefectural University	5
秋田工業高等専門学校 Akita National of College of Technology	3
国際教養大学 Akita International University	15
秋田大学 Akita University	18

**問2. あなたは留学生ですか、日本人学生ですか。**  
Are you an international student or a Japanese student?

留学生 International student	32
日本人学生 Japanese student	9
その他 Others	0

**問3. 「第三の故郷を見つける農家民泊」をどのように知りましたか？**

How did you get to know this program?

掲示 From the bulletin board	7	・大学・高専の掲示 7 (回答者所属内訳) ・秋田大学4 ・国際教養大学2 ・秋田高専1
ウェブサイト From the web-site	3	
友人・知人の紹介 From your friends	3	
教職員の紹介 From professors or staffs	24	・国際課でスタッフが 足りないと言われて 1
その他(複数回答を含む) Others	4	・Eメール 4

**問4. 「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。**

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2013: Farming Tour?

農業体験 Farming practice	14	その他 内容 ・hot spring & preparing the meal ・全部楽しかった ・The whole program ・Talk with group members ・いろいろ食べ物を作る ・こけ玉作り
農家民泊 Farm stay	21	
ピクニック Picnic	0	
農家さんとの語り合い Talk with farmers	10	
その他(複数回答を含む) Others (all)	6	

**問5. 農業体験に参加して満足しましたか。**  
Were you satisfied with the farming practice?

とても満足した Very satisfied	34	・It was tons of fun!
満足した Satisfied	5	
どちらでもない Neutral	1	
不満だ Dissatisfied	0	

**問6. 農家民泊に参加して満足しましたか。**  
Were you satisfied with the farm stay?

とても満足した Very satisfied	38
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0

**問7. ピクニックをして満足しましたか。**  
Were you satisfied with the picnic?

とても満足した Very satisfied	26
満足した Satisfied	13
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

**問8. 農家の方たちと交流できましたか。**  
Could you communicate with farmers?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	18
交流できた Yes, I could.	17
どちらでもない Neutral	4
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	1
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

**問9. 他の学生及び教職員と交流できましたか。**

Could you communicate with other students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	24
交流できた Yes, I could.	14
どちらでもない Neutral	2
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

**問10. 「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」に参加して満足しましたか。**

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2013: Farming Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	34
満足した Satisfied	7
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問 11. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。

Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2013.

・栗拾いでトカゲを見つけたり、ふとんにカメムシがいて大騒ぎしました。私達の農業体験は、男女で分かれて稲刈りと、晩ごはんづくりをしました。私は稲刈りでコンバインに乗せていただくという素敵な体験をすることができました。温泉、そば打ち、・・・書ききれません。参加してよかったです。

・農家民泊を知るようになったのは「多文化コミュニケーション」という授業でした。最初に聞いた時は無料だからやってみようかと思ってやってみたが、今のところでは後悔なんかしません。むしろ楽しすぎて参加できてうれしく思っています。農家民泊のお母さんとお父さんは本当の親みたいになってくれて徐々に温かい心を感じることができました。

・ホストファミリーの方々は大変温かい歓迎をしてくださり、留学生も私もとても幸せな時間を過ごせました。農家に泊まるのは初めてで、農作業は新鮮な体験でいっぱいでした。農家の方々の手厚い対応のおかげで言語の壁を越えみんなで交流できました。珍しい体験をありがとうございました。

・日本人の家に泊まって、いろんな日本のお料理と一緒に作ったり、教えてもらったりしてとても楽しかったです。お母さんに書道もやらせてもらって本当にうれしいです。他の外国人と友達になったり、いろんな話もしました。本当にいい経験になりました。

・他大学の学生、留学生と交流できる機会は私の大学（県立大）では少ないので、とても良い経験でした。また、農家で過ごすこともなかなかできないことで、だまこの作り方や他の料理の作り方、たくさんの事を教えていただきました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

・来日5年目ですが、農業体験イベントが初めて参加します。聞いたことがありましたが、そもそもどのようなことですがイメージしかしません。今回収穫の季節で日本人の農業生活にこんなに近くさせていただき、ありがたいです。さといもを取ったり、小豆を剥いたり、おばさんの御飯づくりに手伝ったり、民宿を1泊させたり（など、など、・・・）したことで、自分の肌で日本人の生活を感じました。そして、他の国、他の言語で交流チャンスをいただき、言語のみでなく、異文化のおもしろさも少し味わわせていただきました。たくさんの楽しみ、たくさんの勉強になりました。最近JRの秋田DCイベントをきっかけにして、このような活動でそれと相乗効果が出るかもしれません。ありがとうございました。

・色々なところが勉強になりました。日本の古民家や農業また農家との交流全てがよかったです。この後も交流を続けられればいいなと思っています。

・正直、来るまでは不安だったけど、実際に来てみたら、素敵な方々と出会って、美味しいごはんをいただいて、きりたんぼ作りを教えてもらったり、温かい農家さんにも出会えてとっても楽しむことができました。そして、他文化を本当にたくさん知ることができて、今後の自分の人生の方向性についてもすごく考えを深めることができました。こういう活動にもっと参加していきたいです。ありがとうございました。

・のどかにお世話になりました。農家体験（豆むし）もあるし、新鮮でおいしい食物も一杯食べたり、新しい友達も会っていろいろおしゃべりもあった、とても楽しかった！今回この機会をもらって大変ありがとうございます！**Thank you very much!**

・新しい知り合いができてよかったです。秋田が自分の第2ふるさとみたいの存在と感じました。またこういう体験をしたいと思います。「のどか」のおばあさん大好きです。

・本当に楽しかった！

・何よりも他の外国人と一緒にいろんなことが出来てすごく面白かったです。そして農家に民泊もできたり、自分が体験した材料で皆でご飯を作って食べたりして本当に楽しかったです。また農家体験があったらぜひ参加したいと思います。

- ・本当に自分の第三の故郷を見つけたような気がします。他大学の人との交流をととても楽しかったです。それから、自分の英語力を発揮する場があることが嬉しかったです。また参加したいですし、個人的に泰山堂を訪れたいと思いました。
- ・お互いに初対面だったので、皆と仲よくなれました。のり巻きをずっと作りたかったのですが、ちゃんと作り方を習えてとても嬉しかったです。おばあちゃんの適当な所とお母さんのさばさばしたところと、笑顔最高なおじいちゃんと国際色豊かなメンバーがとても嬉しかったです。また、来月が楽しみです!!!!
- ・とても楽しかったです。その体験が忘れるわけにいかないです。
- ・いろいろおいしい食べ物を作り、みんな優しい人と思う。ありがとうございます。うれしかった!日本がどんどん愛になります。好きです。また来たい
- ・楽しかったです。食べ物はすごくおいしかったです!ありがとうございます。
- ・このプログラムに参加できてよかったです。色々人々に交流できました。その上、新しく新しい経験をもらった。お米を作り方や、きりたんぼを作り方、いっぱいいい思い出が作れました。ちゃんと楽しく農家民泊できました。
- ・農家民泊は初めての体験で貴重な経験がたくさんできました。時間の流れがゆっくりしている感じがしました。おいしいお料理をお腹いっぱい苦しくなるまで食べさせていただいて本当に感謝です。もう少し、日常の農家さんの仕事体験ができるとさらに楽しいと思いました。11月にまた遊びに来るのが楽しみです。
- ・初めて農業体験に参加していただき、ありがとうございます。美味しい食物を作っていただき、お疲れ様でした。今度貴重な経験だと思います。各国の皆さんとよく交流してもらっていい友達になりました。
- ・とても楽しい農業体験でした。
- ・体験だけでなく野菜や栗などをいただき、たいへん感謝しています。このグループには日本語が上手な学生からあまり話せない学生までいましたが、すべて日本語で説明することを全員が希望し、その通りすべて日本語でこの2日間を過ごしました。彼らにとって日本文化、日本語、日本の農業を学ぶ大変良い機会になったと思います。また私自身も彼らに説明することを通して、表現力(たとえ日本語でも)の大切さを痛感しました。農家のみなさんには大変感謝しています。ありがとうございました。
- ・母国ではできなかった様々な経験ができ、本当に楽しかったです。さらに、農家に住んでいる家族と一緒に話ながら、いろいろ教えてもらったのもっといい経験になったと思います。後、このようないい機会があったらまた参加したいと思いました。とてもありがとうございました。
- ・母国で体験しないことが日本に体験できてよかったです。農家のみなさんが優しくよく話してくれました。疲れたが、楽しくて、日本でのいい思い出ができて本当に感謝したいです。母国に帰っても、今回のことが絶対に忘れません。
- ・本当にいい経験ももらいました。また来年、この農家民泊をしたいです。すごく楽しかった。
- ・私はこの活動は初めて参加しました。本当に楽しく幸せです。以前は自分の日本語が苦手だと思っていますので、他の人にしゃべることは恥ずかしいと思いました。しかし、みんなと一緒にご飯を作ったり、しゃべったりして、そんな感覚がだんだんなくなりました。そして、日本料理の作り方を少し勉強していました。つまり、私にとって、この体験は楽しいです。
- ・ I think it was a very interesting experience, because I have never been at the countryside before. Not ever in my own country. So, I've been able to see how life is at the countryside.
- ・ Home mother and father are very nice people. They are passionate and patient to tell me many things even though I could only got 70%~80% in the conversation. I really like this experience from many aspects.(Food is delicious, air is fresh, people are friendly and kind!) I love this activity!!!
- ・ This "farm stay " was the most interesting experience that I have ever had, I could learn a

lot about people, culture, customs, style of live, food, resources, activities, celebrations, and history. I love this farmers, their activities and their form of live is awesome!! I really like to participate in the Harvest Festival on November 9, sure!

- Awesome!!! The house we lived was so beautiful! And the "home mother" is 優しい. This should be one of the best experience during my study abroad life in Japan. おいしい物がたくさん食べた！幸せだと思います。

- It was very fun! It's nice to be able to stay with a family(since I live in a dorm). The farming experience was interesting. I learned many new things.

- The Farm stay and Farm experience was very fun and interesting. The farm was impressive. We have experience cooking Japanese dishes and did some tomato picking. I would like to thank the Organizers for spearheading this event. It was indeed an unforgettable experience for me and a warm welcome here at Akita.

- It has been a wonderful experience living under a Japanese family house for a night! I had a lot of fun trying to help my host-family with making food! I think I haven't helped as much as I had fun! I am looking forward to November!

- I hope that there will be more farming activities for us to participate.

- I like the farm stay tour so much. The farming experience was very interesting. I enjoyed so much and the host farm stay are very kind. I hope I will have a chance to join the farm stay again in next year.

- The farm stay was very fun and I hope to do it again next year. I wish that we could stay for a week instead of only the weekend!

- It was such a great experience!

- It's a really a special experience for us to live nearby the farm and cook something by ourselves. Talking with the home stay's parents is also interesting. Though it's just a two or three days activity, it also brings a lot of things and memory for us like here so much!

- I was probably the worst international student of Japanese on this trip. Because of my poor ability, I may not have understood some things asked of me. It was a good experience to learn Japanese. I t may have come of the inconvenience of the farmers.

- I enjoyed it a lot.

- I wish the stay would have lasted longer!

- It would also be interesting to have a couple more activities throughout the day!

- All was perfect If it could last longer(3 days).

**[農業体験ツアー] 受け入れ農家アンケート 結果**  
Result of the Farming Tour Questionnaire for Host Family

回収数:8枚 単位:人

問1. 「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2013: Farming Tour

農業体験 Farming practice	1
農家民泊 Farm stay	2
ピクニック Picnic	0
学生との語り合い Talk with students	6
その他 Others	0

(秋大)のこられた先生がペルーの国の料理を皆に作ってくれてとても美味しかったし嬉しかった。

問2. 農業体験を実施して満足しましたか。

Were you satisfied with the farming experience?

とても満足した Very satisfied	5
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	1
とても不満だ Very dissatisfied	0

次回はもっと良く手順を考えなくては。

問3. 農家民泊を実施して満足しましたか。

Were you satisfied with the farm stay?

とても満足した Very satisfied	5
満足した Satisfied	3
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問4. ピクニックに参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the picnic?

とても満足した Very satisfied	6
満足した Satisfied	1
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問5. 留学生と交流できましたか。

Could you communicate with International students?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	4
交流できた Yes, I could.	4
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

とても素敵な学生達でした。

問6. 日本人学生および引率教職員と交流できましたか。

Could you communicate with Japanese students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	6
交流できた Yes, I could.	1
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

問7. 「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2013: Farming Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	5
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問 8. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。

Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2013.

- ・私達受ける側も、大変満足しております。有りがとうございます。
- ・今年も色々な国の方達と話し合え、楽しく過ごせました。又皆さん遠くから来て勉強している姿に感動させられました。11月9日の再会楽しみにして待っています。
- ・留学生となるとちがいます。すごく感動させて頂きました。体に気をつけてがんばってと常に応援しています。
- ・一緒にごはんを食べながらお話をしたことが一番楽しかったです。
- ・交流会とそば屋の店と二又かけてしまい、少しの間交流が出来ずじまいで申し訳なく思った。それ以外は素直で明るい学生さん達だったので、いろいろ忙しかったけど楽しく過ごさせて頂きました。
- ・短い時間に数多くの体験をしてもらった事は感謝しています。

## 収穫感謝祭ツアー 留学生・日本人学生アンケート 結果

Result of the Harvest Festival Tour Questionnaire for International Students and Japanese Students

回収数:39枚 単位:人

問1. あなたはどの大学の学生ですか。

Which university do you belong to?

秋田県立大学 Akita Prefectural University	6
秋田工業高等専門学校 Akita National of College of Technology	3
国際教養大学 Akita International University	13
秋田大学 Akita University	17

問2. あなたは留学生ですか、日本人学生ですか。

Are you an international student or a Japanese student?

留学生 International student	31
日本人学生 Japanese student	8
その他 Others	0

問3. 「第三の故郷を見つける農家民泊:収穫感謝祭ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2013: Harvest Tour?

料理の準備 Cooking	14
食事をしながらの交流会 Party and eating meals	13
アルバムの作成 Making albums	16
その他(複数回答も含む) Others	3

2次目、また会っているいろいろな話ししながらアルバムを作成したのが楽しかったのです  
・バスの中での会話  
・人に会える  
・こけ玉づくり

問4. 料理の準備に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with cooking meals?

とても満足した Very satisfied	27
満足した Satisfied	10
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
参加しなかった I didn't participate in cooking meals.	2

問5. 食事をしながらの交流会に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the party and eating meals?

とても満足した Very satisfied	30
満足した Satisfied	8
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
参加しなかった I didn't participate in cooking meals.	1

問6. アルバムを作成して満足しましたか。

Were you satisfied with making albums?

とても満足した Very satisfied	27
満足した Satisfied	10
どちらでもない Neutral	1
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	1
参加しなかった I didn't participate in cooking meals.	0

問7. 農家の方たちと交流できましたか。

Could you communicate with farmers?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	16
交流できた Yes, I could.	17
どちらでもない Neutral	3
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	2
交流できなかった No, I couldn't at all.	1

問8. 他の学生及び教職員と交流できましたか。

Could you communicate with other students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	22
交流できた Yes, I could.	14
どちらでもない Neutral	2
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	1
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

問9. 「第三の故郷を見つける農家民泊:収穫感謝祭ツアー」に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2013: Harvest Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	30
満足した Satisfied	8
どちらでもない Neutral	1
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問10. 「第三の故郷を見つける農家民泊」(10月5日から6日と11月9日)に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2013 in October 5-6, November 9 as a whole?

とても満足した Very satisfied	30
満足した Satisfied	7
どちらでもない Neutral	1
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問 11. 「第三の故郷を見つける農家民泊」について、自由に感想・意見をお書きください。  
Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2013.

《肯定的なコメント Positive Comment》

- ・美味しいおもちをたくさんいただけてとても幸せです。参加できて初めて農家さんと近くで交流し、留学生とも日本の農業や文化について話すことができとても楽しく、刺激的でした!ありがとうございます。またぜひ参加したいです。
- ・いっしょに料理を作り、食べたり、話したり、すごく楽しかった。さらに、トラクターに乗っておもしろかった。今回のアルバムを作るのも楽しかった。
- ・お父さんとお母さんはいっぱい美味しい料理を作ってください、農家さんの生活を教えていただきました。大変貴重な経験であると思います。また、ほかの学生さんたちと友達となりました。大変うれしいです。
- ・楽しかった!ありがとうございました。
- ・とても素敵なアルバムができました。私もまたぜひ農家さんを訪ねたいと思います。このイベントに参加した日本人にも留学生料金提供してください!!
- ・留学の生活の中で大切な思い出が出来たと思います。いろいろな国の人と会って、日本の農家民泊で泊るのはなかなか機会がないと思いますが、このいい体験プログラムがあってよかったと思います。
- ・食事はめっちゃおいしかった。いろいろありがとうね。日本で一番いい経験だと思う。ありがとう!!!
- ・とても楽しかった!!!ありがとうございました!!!
- ・2日間、そして11月も同じメンバーで同じ民宿というのが本当に良かったです。より深く、絆を深めることもできたと思います。とっても良かったです。企画ありがとうございます!!
- ・星雪館のみなさんは本当にとっても親切でした。ありがとうございました。この活動があるとよかったです!!Thank you for organizing this event!!
- ・日本に来てからこれは一番楽しかった日々だったよ。また行きたいよ。ありがとうございました。
- ・第三の故郷を見つける農家民泊のイベントに参加して楽しかった。機会があったら、また参加したいと思います。
- ・大変良い経験（秋田でしかできない経験）をさせていただき、ありがとうございました。
- ・農家の家族と交流しながらいろいろ体験できて、本当に楽しかったです。
- ・農家の方々と交流ができてとてもよかったですと思っています。また新しい出会いや新しい発見もありました。田舎の魅力を再発見しました。
- ・日本にいながら多くの外国人と農業体験をすることができました。ホストファミリーはとても暖かくお世話して下さいました。参加することができてよかったです。ありがとうございました。
- ・楽しかった。本当に。だから今度、時間をつくってまたここに来たい。
- ・のどかの農家体験はとても嬉しかった。手作りのきりたんぼもしたり、いんげんまめも剥いたり、今回もアルバムを作ります。最高だ!
- ・来年、友達を連れてきます。
- ・「のどか」がすごくよかったです。また行きたいです。
- ・楽しかったです。また個人的に訪ねたいと思います。
- ・来てよかったと思います。またこういう機会があればぜひ参加したいと思っています。
- ・ありがとうございました!本当に楽しかったです。ぜひ帰りたいです。
- ・Staffのみんな、お疲れ様でした。本当にありがとうございました。今回の農家民泊体験はすばらしかったです!!一生忘れない思い出です。また帰りたいです。どうもありがとうございました! P.S. 台湾へようこそ。

・この活動はとてもおもしろいです。日本に来たあと、ちょっと寂しいと思います。しかし、このような活動に参加して、いろいろな友達が会えて、本当にうれしいです。

・楽しかった!Thank you very much.

・今回参加してたくさんの国の方と交流できたし、かなりいい経験だったなーと思いました。ありがとうございました。

・ Although I did not participate in the Farm Stay in Akita, I am very satisfied with the harvest festival. I got to meet many wonderful friends from Akita University. I am very grateful for this opportunity to participate in the Harvest Festival. Thank you very much.

・ I think this activity is very useful for foreign student to understand more about Japanese cultural. Please keep this activity every year. Thank you!

・ It was very interesting. I like the program's goal of getting students to interact with locals out in the country. This is a side of Japan that few people get to experience unfortunately!

・ It was very interesting and rich in culture(I could know some of Japanese culture as farming, meals, host.)

・ Staying overnight in the farmers house was by far the most important and interesting feature of the farm stay. Sleeping on tatami and experiencing the daily lifestyle of such a different culture in this sort of style was an opportunity that I am glad I didn't miss. Thanks for such a valuable experience. I learned a lot, as well as having fun.

・ It has been a lot of fun on this year's farm-stay! I think that meeting the family after one month is a very good idea! Thank you for letting me participate!

・ It was an interesting experience and it is easy to make me a friends.

・ Thanks for this amazing time!

・ I really enjoyed the time I spent with my Farmstay host. I think it was a good experience. There isn't much I would change.

#### 《その他 Others》

・バスの中でのアナウンスをマイクを使ってやってあげた方が良かったかも……。後ろの人が聞こえず少し困っていました。

・もっと日本人の学生も参加してもいいのではないかと思います。

・「農家民泊」に参加できなかったから今最後のアルバムの作成本当に関係ないので、ちょっと違和感があった。

・もっと英語話せるようになろうと思いました。頼りないリーダーだったなーと思います。

**収穫感謝祭ツアー 受け入れ農家の方々アンケート 結果**  
Result of the Harvest Festival Tour Questionnaire for farmers

回収数:8枚 単位:人

**問1.「第三の故郷を見つける農家民泊:収穫感謝祭ツアー」  
で一番印象に残ったイベントは何ですか。**

**Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2013: Harvest Tour?**

料理作り Cooking	2
食事をしながらの交流会 Party and eating meals	4
アルバムのプレゼント Present of albums	6
その他(複数回答を含む) Others	0

**問2. 学生と一緒に料理作りをして満足しましたか。**

**Were you satisfied with cooking meals with students?**

とても満足した Very satisfied	6
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

**問3. 食事をしながらの交流会に満足しましたか。**

**Were you satisfied with the party and eating meals?**

とても満足した Very satisfied	7
満足した Satisfied	1
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

**問4. アルバムのプレゼントには満足しましたか。**

**Were you satisfied with present of albums?**

とても満足した Very satisfied	8
満足した Satisfied	0
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

**問5. 留学生と交流できましたか。**

**Could you communicate with International Students?**

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	7
交流できた Yes, I could.	1
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

**問6. 日本人学生及び引率教職員と交流できましたか。**

**Could you communicate with Japanese students, staff and faculty?**

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	7
交流できた Yes, I could.	1
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

**問7.「第三の故郷を見つける農家民泊:収穫感謝祭ツアー」  
に参加して満足しましたか。**

**Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2013: Harvest Tour as a whole?**

とても満足した Very satisfied	7
満足した Satisfied	1
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

**問8.「第三の故郷を見つける農家民泊」(10月5日から6  
日及び11月9日)に参加して満足しましたか。**

**Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2013 in October 5-6, November 9 as a whole?**

とても満足した Very satisfied	5
満足した Satisfied	3
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問 9. 「第三の故郷を見つける農家民泊」について、自由に感想・意見をお書きください。  
Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2013.

《肯定的なコメント Positive Comment》

- ・とてもステキな学生達ばかりで、感心しました。
- ・今回もとても楽しかったです。来年もよろしくお願いします。
- ・今回の皆さんは日本語が上手だったので会話がはずみ楽しかったです。
- ・故郷から離れて来られているので1回でも自分の家に居るようなゆっくりした気持ちでお泊りされるお手伝いが出来て嬉しかったです。又、こちらこそおねがいします。
- ・とても楽しかったです。また会いたいです。
- ・来年もこの事業を企画して欲しいです。
- ・第5回の受入れで皆さんと交流出来又それぞれの国の文化等知れ又私達は皆さんがまた来たいと言われる所で良かったと思いました。楽しく過ごさせてもらいました。
- ・すごく私達の生活全てにおいて大事にして頂きました。改めて、まわりが素敵だなと思った。

《その他 Others》

- ・もっと英語ができればなと痛切に感じました。

## おわりに

グリーン・ツーリズム西木研究会  
会長 門脇 富士美

5回目の留学生との交流事業が終わりました。今年も元気で積極的な留学生と交流ができ、それぞれの農家で様々な体験が出来たようでした。10月の1泊2日の農家への滞在、11月の餅作りと、全部で3日間という短い時間でしたが、参加した学生の皆さんはキャンパスを離れてのびのび楽しんだのではないのでしょうか？

毎年のことながら、顔を合わせるまでは事前に配られた名簿と国籍から、どんな学生が来るのだろうか、不安いっぱい楽しみ少し。ご飯は何にしようか？体験は何にしようか？雨が降ったら何をしようか？特に受け入れ農家の母さんは頭を悩ませました。1年間に何人も学生と交流の機会を持つ私たちですが、やはり国籍、文化が違うとなると少し緊張します。しかし、お昼ご飯を食べながら自己紹介などしていくうちに緊張はほぐれて、美味しいという言葉でどんどん仲良くなっていったような気がします。

10月5日、ほうれん草農家の我が家では、ちょうど収穫時期のほうれん草があり、皆さんに収穫を手伝ってもらいました。夜にはカラフルな太巻き作りをし、翌日のお弁当に入れました。翌6日には、薪ストーブ用の薪を運んでもらったり割ってもらったり。黙々と皆さんが手伝ってくれるので大変助かりました。

11月9日、餅つきとアルバム作りでしたが、私たち受け入れ農家が皆喜んだのは、アルバムのプレゼントでした。いろいろな国の言葉が書かれていたり、イラストが描かれていたり、いつ撮ったんだらう？という写真が貼ってあったり。大きな声で、「うれしー、ありがとー」と言いたくなるほど素敵アルバムでした。

5年続いたこの事業ですが、振りかえると留学生の皆さんと交流するようになってから、どこの国のお客様が来ても前向きにお迎え出来るようになってきたように感じます。この山の中にいてこんなに多くの方と会えるのは、とても素晴らしいことだと思っています。参加学生の皆さんにとって、短い秋田での生活の中で今回の体験がよい思い出の一つになり、将来また訪れてくれると大変うれしいです。

平成25年11月18日



発行

秋田地域留学生等交流推進会議

事務局 秋田大学国際課内

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

TEL 018-889-2856

FAX 018-889-3012

E-mail [kokusai@jimu.akita-u.ac.jp](mailto:kokusai@jimu.akita-u.ac.jp)